

校訓
至誠勵業
剛健成風
操守堅固



関西
朝ぼらけ



発行責任者
関西福中・福高同窓会
板澤 達男(高35)
奈良県生駒市
萩の台5-1-3-204

tatsuoitazawa@gmail.com



常識を壊して、発明をしたい。

江口 カンさん(高38回) 映画監督／映像ディレクター

CMやドラマなど数々の映像で見る人を惹き付け、世界の注目を集めて来た江口さん。2018年『ガチ星』で劇場映画監督デビューし、新たな境地を切り開く。19年1月、ドラマや舞台で人気を博した『めんたいびりり』が映画になって全国公開された。

明太子を日本で初めて製造販売した、「ふくや」創業者の川原俊夫の人生をモデルにした物語。主人公・海野俊之は、戦争の傷跡残る中洲で「ふくのや」を営み、山笠と明太子作りに熱中するのぼせもん。人情に厚い博多の人々を描いた映画の製作話を通して、映像づくりへの思いを伺う。〔取材:武尾 愛恵(高48回)〕

帰って来た！と
言ってほしい

映画『めんたいびりり』に寄せられる声援を、SNSで見かけた方も多いだろう。「ふくのやが帰って来た！と、福岡の人に言ってほしい」。映画化にあたり、江口さんはまず考えたという。ずっと応援してくれている人たちに裏切りたくない。ドラマと同じ平常心で、初めて観る人のために不可欠なエピソードは残しつつ、新たな物語を作った。公開後の劇場では、笑いや喝采が聞こえ、若い人のおじいちゃんおばあちゃんを連れた姿もあったそう。また、ツイッター上で上映期間延長を求めるハッシュタグ「#びりり」を止める「#ハッシュタグ」が、応援の輪が広がり、上映する劇場も追加された。

博多弁の台詞が、福岡を離れて暮らす者の心に沁みる。「肌に染み付いた言葉で撮りたくて、江口弁と言われるほどこだわりました」。山笠のシーンにも心躍るが、撮影は三月だったとか。「エキストラの中洲流の人たちが、勢い水に凍えながら頑張ってくれたんです。ちよとかわいそうだったかな」。多くの協力があって『めんたいびりり』は完成した。「そもそも、地元の話を地元スタッフで作って全国へ発信するなんていう、のぼせたことは、博多じゃないとできません。ふくやさんなん、この作品のために映画会社を設立してしまっただけ。もう、福岡への偏愛ですよ(笑)」。世界で活躍してもなお、福岡を拠点とする江口さんの言葉には実感がこもっている。

繰り返される
ベタな日常への安心感

昭和30年代のある一年、ふくのやには楽しいことも悲しい事件も起こる。「色々な出来事を皆で共有して解決し、また日常に戻る。今はあまり見かけない、繰り返されるベタな日常への安心感、めんたいびりりらしさの一つです」。江口さんは語る。そうした「季節の巡り」を表現するため、音楽を二から作り直した。撮影期間はわずか一か月だったが、演技にも画質にも妥協はしていない。多くの要素を詰め込みながら、観る人が飽きないよう心を砕いた。「戦争の悲惨さも描きました。また、新しい手法のCGなど実験的なことを散りばめています。スケッチウタラさんもその一つ。いわゆる映画っぽくないキャラクターだけど、TVで面白かったものを活かしてもいいのではと。上手に作るより、観る



KOO-KIオフィスにて



福中・福高同窓会

【事務局】

〒812-0043 福岡市博多区堅粕1-29-1 福高記念館内

TEL092-641-7258 FAX092-641-3923 f-chiyogento@alpha.ocn.ne.jp

より詳しい内容はWeb先行版で公開中
<https://kansai-fukuchufukkou.com>



Profile

江口 カン(えぐち・かん)

高3の福高祭で『ロッキー』のパロディを作った映像に目覚め、九州芸術工科大学画像設計学科へ。在学中から映像制作の仕事を始め、卒業後フリーランスを経て1997年、KOO-KIを共同設立。TVC、Webムービー等を手がけ、カンヌなど国内外で多数受賞。

2013年、東京五輪招致PR映像のクリエイティブ・ディレクションを務める。同年、ドラマ『めんたいびりり』、15年に『めんたいびりり2』を監督。18年、映画『ガチ星』全国順次公開、19年6月には『ザ・ファブル』が全国公開予定。

くだらない常識を壊したいと江口さんは言う。「『めんたいびりり』は昭和の話だから、ターゲットは昭和世代ですね、なんて言われたりしましたが、それは違う。普遍的な笑いがあるし、年配の方には懐かしく、若い人には新鮮な過去。懐古趣味的ではなく、世代を超えて一緒に楽しめるように撮ったつもりです」。「僕は常に、その映像ならではの発明を入れたいと考えて

います。そのために、実験的なことも積極的に取り込む。ちゃんとこだわりをもって面白いものを作れば、お客さんは観に来てくれると信じて、妥協することなく映像を作り続けていきたいと思っています」。

フラットな視線で人にも映像にも向き合う江口カンさん。その先に広がるのはどんな新しい世界なのだろう。これからも声援を送り続けていきたい。

その映像ならではの発明を

人が楽しめるかどうか、それしか考えていません」。「ご自身が一番好きな場面は、「ふくのやの味を盗もうとした石毛と海野夫婦の再会シーン。言葉は少ないのに、お辞儀が多くを語って

いて。お辞儀、つてすごい文化だなと感じます。三人の表情も素敵なんですよ」。ここでは「縁が巡る」ことを表しているという。映画独特の演出に、自然と引き込まれていたことに気付く。

松山より

甲斐 朋香(高41回)



Sa-Rah estにて。筆者の着ているフードカーディガンもSa-rahのもです。

はじめまして、高校41回生の甲斐朋香と申します。昨年、「イチの会」が当番幹事だった関西同窓会にお邪魔したご縁で、仲間に混ざって頂くことになりました。

私は今、愛媛県松山市に住んでいます。正岡子規や夏目漱石も愛したという道後温泉は、自宅からも職場(松山大学旧・松山商科大学)からも自転車です。10分足らず。個性の強烈さでは高知の鰹や香川のうどんに二歩譲るといへ、山海の食材や自然の風景の豊かさ、地域域の魅力です。実は酒蔵も多く、時に遠来の友あそばさうばいづしの地元民のよしみ顔で二献傾けるのも愉しみのひとつとなりました。



鬼北町特産のキジのたたき。愛媛県は、海の幸にも山の幸にも恵まれています。

与えました。私自身は被害を受けずに済みました。が、柑橘産地でもある海沿いや島嶼部、ダムの下流域などでは、今なお復興に向けて努力が続けられており、ニュースに胸を痛める日も少なくありません。

その一方で、普段はのんびり屋な愛媛県人の底力に感嘆させられることも度々です。宇和島市津島町で特区申請し、どぶろく「NASSO」(「なっそ」・驚嘆を表す南予地方の方言)を生産・販売するNPOのOSSAN(おっさん)たちは、「どぶろくを百万円分売って、売上金額ぜんぶ被災地に寄付する!」と宣言、わずかな週間で目標を達成しました。羊毛や麻など生地にこ

だわる、大洲市の手づくり洋服店「Sa-rah」さんでは、河川の氾濫で泥水に浸かり、生地が縮んでしまった商品を洗い直し、「脇川びたし」と銘打って、お買得価格で売り出しました。同じく被害に遭った近隣のお店や、復興への協力を申し出たという全国各地の知り合いの方々とのコラボ企画「Reboot」(「再起動」)は、地域に明るい話題を提供しました。

関西福中・福高同窓会
会 長

岡部和也(高28回)

関西福中・福高同窓会
顧 問

山本良雄(高22回)



関西福中・福高同窓会ビアパーティー

藤本 茂(高16回)

参加者は24名で、そのうち高16回生は6名(白水、松本、佐藤、黒川、山本、藤本)もの参加を得ることができました。

上林さん(高29回)の司会で会は進行し、岡部会長(高28回)の挨拶を頂いたのちに、まずはビールで乾杯して、会は賑やかにスタートしました。

同窓生の活躍のTV録画や、福高体育祭の様子などが映像で紹介されたり、佐藤君が遠路はるばる持参してくれた昔の貴重な写真集や高校時代に作成された文芸誌「福高」で盛り上がり、今回初めて参加された酒井君(高51回)や佐藤さん(高31回)の自己紹介等も行われました。

また、今回の最年長者の柴田さん(高12回)や、女性で一番若くて今回受付をやってくれた矢幡さん(高53回)の挨拶の後に、白水君が、体育祭スタンド用の木材調達に、当時ゼネコンの支店長をしていた山本さんのおじいさんの所に行って、トラック2台分の木材を調達してきた話を紹介したり、佐藤君が持ってきてくれた文芸誌「福高」の中に記載されていた山本さんの詩を紹介したりして、大いに盛り上がりしました。

最後に、今回の最年長者の森藤さん(高12回)の挨拶の後に、「博多手一本」で最後を締めました。

終了後、大阪梅田迄地下街を徒歩で歩行中に、「1994.4.30:卒業30年の"Back To ザ 修学旅行"」は京都地区だけだったが、修学旅行では奈良にも行ったので、今度は奈良に "Back To ザ 修学旅行"に行かないかとの話が出て、「是非企画して行こう!」と大いに盛り上がり、勿論、関西地区だけではなく全国の福高寿緑会の皆にも呼び掛けようということになった。今後の推移を楽しみにお待ち頂きたい。



昨年の総会を振り返って

平成30年の関西福中・福高同窓会総会に、当番幹事として参加させて頂きました。

それ以前は、随分前に2回しか参加していませんでしたし、当番幹事として参加したことはありませんでしたので、初めは不安でした。

準備を始めてからは、岡部会長や常任幹事の皆様に助けて頂き、同期の佐藤さん、高41回の古賀さん、高橋さんと一緒に、何とか会を終えることができました。

当番幹事をしてみて、案内状の発送だけでも大変だということが分かりましたし、企画や進行を考える時は、限られた中で、二人でも多くの方に参加して頂き、楽しんで頂けるにはどうしたら良いかと、悩むこともありました。

反省点もありましたし、大変なこともありましたが、恩師の戸川先生にお目にかかれ、また福岡や東京から手伝いに来てくれた同窓生にも会えました。

講演を福津市市長の原崎さん(高41回)にお願いしたことで、福津市ができたことを知りましたし、世

高田 智恵(高31回)

界遺産登録のことや福津市の魅力、宮地嶽神社を舞台にした映画「巫女つちゃん」のことも知りました。

準備をする中で、関西にいらつしやる同窓生の皆様の福高の思い出や地元のお話も聞くことができて、楽しい時間を過ごすことができました。

今までは、ほとんど参加してこなかった総会ですが、これからは、できるだけ参加しようと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



フリーアナウンサー
コミュニケーションアドバイザー

コミュニケーションデザインOffice
(株)クオリア

代表取締役

上林久美子(高29回)

kambayashikumiko@gmail.com
090-1894-2278

関西げたの会
高22回

年に1度の
同期旅行実施中!

関西珊瑚会
高35回

同窓生はご一報ください!
tatsuoitazawa@gmail.com

還暦からの転職 or 天職

荻田 玲子(高23回)

還暦の年に全国通訳案内士(英語)の仕事始めて6年になる。ちなみにこの仰々しい名称は観光庁の命名で国家資格の一つである。それまでの生活とは一変して、外国人を相手に喋りながら観光名所を案内するのは緊張するが、私の性に合っているようだ。定年もないし体力の許す限りは続けたいと思っている。しかし始めた頃には見た目はベテランでも新人だったため、赤面するような失敗もしたものだ。

このところ、ゲストになぜ街中にマスクをしている人が多いのかとよく尋ねられる。春や秋、冬は花粉症とか風邪対策と、理由は色々あるけれど、夏にもよく見かける。私は女性のマスクは多くは excuse of no make-up (化粧をしていない素顔を人に晒したくないけど、面倒臭いのでマスクでカバー、少し前までは年配の女性に多かったが、今は若い女性にも増殖中)と睨んでいる。大抵のゲストはここで笑う。また街にゴミが散らかっていないし、とてもクリーンだと感じられることもよくある。日本では小学生でも教室の掃除をすると答えると、一様に驚かれる。禅の話もよくする。禅の修行では、座禅を行うのは静の修行で、自分の周りの掃除は動の修行である。静と動があつてこそ真の修行となる。その修行の伝

統が直接ではないが、日本人の清潔好きに影響しているのかも知れないと説明すると大抵のゲストは納得してくれる。

結婚以来、大阪に住んでいるが、学生時代は京都に住んでいた。おかげで長いブランクはあったが、京都が故郷のように感じられてガイドをしていても懐かしう楽しい。京都には昔から変わらない懐の深さ、うららかなさがあると思う。去年の秋のツアーシーズン真っ盛りの頃のことだ。オーストラリア人の女性が紅葉の美しい嵐山を歩きながら、あまりの人の多さに恐縮している私に、noisy but beautiful 言うたことがある。「騒々しいけど、穏やかで平和な感じ」京都の良さを理解してくれたのだと思つて嬉しかった。この beautiful は、外国人のゲストが京都の感想を言うときによく使う言葉である。

今は、40年以上も前に福岡から遠い京都へ遊学させてくれたことがこの仕事につながっていると、亡き両親に感謝している。



総会・懇親会のご案内

第36回 関西福中・福高同窓会 総会・懇親会

日時 2019年5月18日(土) 場所 ホテルエルセラーン大阪

総会案内 & 年会費納入のお願い

同窓会活動の基本となる年会費(2,000円)の納入にご協力ください。総会参加の方は会場受付にて、不参加の方は同封の振込用紙(卒業明記)で納入してください。ご理解のほど、よろしくお願い致します。

関西福中・福高同窓会のHPで情報チェック!

行事のご案内や、出欠の連絡フォームなどを随時更新。
『関西朝ぼらけ』やインタビュー記事なども掲載しています。
ぜひアクセスしてください!

<https://kansai-fukuchufukkou.com>


関西福中・福高同窓会では、さまざまなイベントを開催しています。現役大学生から旧制中学の大先輩まで幅広い年齢層が集まる総会、京都や宇治伏見を散策する初夏の行楽、夏のビアパーティー、関西の大学ラグビー部で頑張る福高OBを応援するラグビー観戦、新年会など、楽しい企画がたくさんあります。お気軽にご参加ください。

2019年度行事予定

- 総会・懇親会 5月18日(土)
- 幹事会 6月19日(予定)
- 利き酒会 6~7月頃
- 納涼ビアパーティ 8月30日(金)
- 幹事会 11月20日(予定)
- 福高OBラグビー観戦 11~12月頃
- 新年会 2020年1月

2019年度 関西福中・福高同窓会役員

顧問	会計部	組織推進部
合屋 嘉人(中20)	■部長 井上 啓子(高22)	■部長 中野 義信(高24)
小山 富夫(高4)	荻田 玲子(高23)	宮崎 正文(高36)
友松 宣昭(高13)		清水 良寛(高45)
山本 良雄(高22)		玉川 裕基(高52)
会長	企画運営部	文書広報部
岡部 和也(高28)	■部長 伊達 貞夫(高22)	■部長 板澤 達男(高35)
副会長	上林 久美子(高29)	荻田 玲子(高23)
井上 啓子(高22)	立石 文彦(高36)	成瀬 徹(高34)
※会計部長兼任	末信 雄二(高47)	武尾 愛恵(高48)
伊達 貞夫(高22)	矢幡 渚(高53)	
※企画運営部長兼任		
中野 義信(高24)	ICTサービス部	監査
※組織推進部長兼任	■部長 宮本 直樹(高45)	渡部 由美子(高45)
幹事長	武尾 数久(高48)	
澤 和彦(高24)	桐島 悠爾(高51)	
副幹事長		
石津 厚(高28)		

同好会便り どんたく会(ゴルフ同好会)

どんたく会は春(4月)、秋(9月)の定例コンペと、秋(10月)の修猷館ゴルフ同好会との対抗戦を行っています。

どんたく会統括幹事 川口義明 TEL & FAX / 06-6850-0230
Eメール / yoshiaki11171117@yahoo.co.jp

編集後記

母校の歴史は百年を超え、個性的で多彩な人たちが毎年同窓会の仲間入りをしています。新時代の価値は、「規模」ではなく「多様性」から生まれるとも言われています。同窓会は、かけがえない貴方のご参加をお待ちしております。まずは年に1度の総会・懇親会に来てみませんか。同窓会のご縁から新たな景色が開けるかもしれません。なお、「朝ぼらけ関西版」は、紙媒体からWEB媒体へ移行を検討していますが、引き続き皆様からの寄稿をお待ちしております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

弁護士 清水 良寛(高45回)

弁護士法人 淀屋橋・山上合同

大阪市中央区北浜3丁目6番13号 日土地淀屋橋ビル6階
電話 06-6202-0653
FAX 06-6202-3375
メール y-shimizu@yglpc.com

減とどと?

税理士 宮本直樹(高45回)

西宮市名次町 4-22-104(引越しました!)

☎ 080-5340-4156